

3 新型コロナを乗り越えるための経済の下支え策の継続・充実について

【文部科学省・厚生労働省・経済産業省・観光庁】

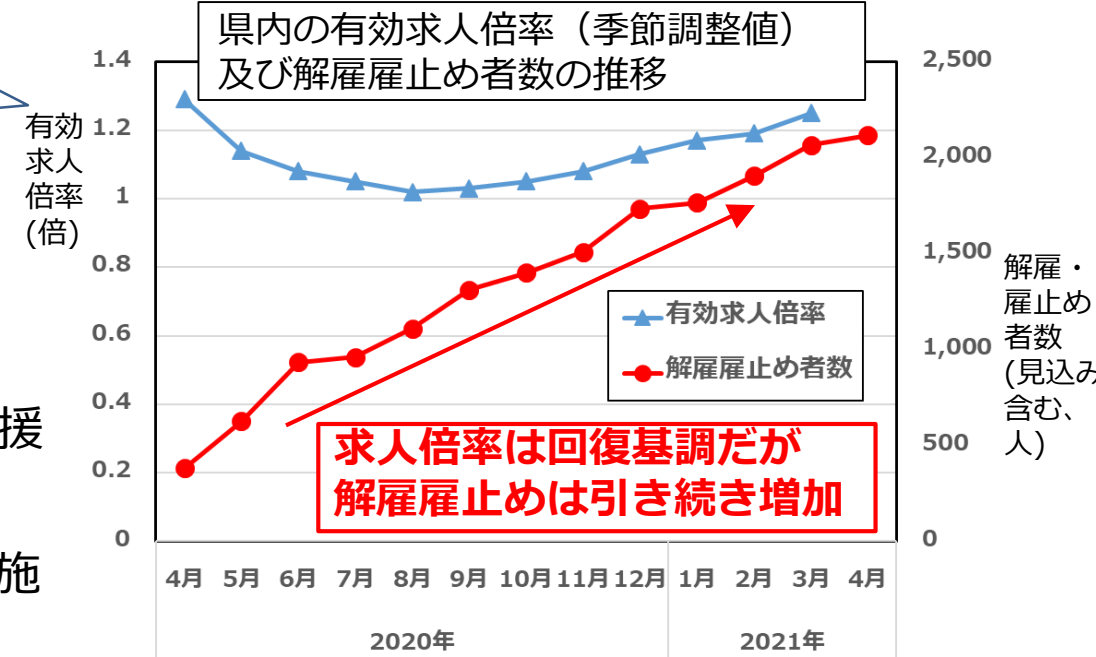
長野県の状況

● 新型コロナの影響を受ける事業者・失業者に対して、きめ細かな支援を実施

- ・ 令和2年の県内の倒産件数は80件、県内の有効求人倍率 1.25倍 (R3.3月分 長野労働局R3.4.30公表)
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による解雇、雇止めは159事業所、2,117人 (長野労働局R3.4.30公表)
- ・ 新規学卒者の就職活動が思うように進んでいない
- ・ 令和2年の県内延べ宿泊者数は対前年比▲42.9% (観光庁「宿泊旅行統計調査」)

取組

産業別新規求人の状況(3月)
「運輸業・郵便業」及び
「生活関連サービス業」で
 前年同月を下回った。



(出典：長野労働局 最近の雇用情勢、新型コロナウイルス感染症の影響等に係る対応について)

○ 長野県中小企業融資制度による支援

- ・ 長野県新型コロナウイルス感染症対応資金
 【4月末利用実績：28,774件 3,926億円】

○ 産業・雇用 総合サポートセンターの設置

- ・ 行政書士会と連携した、県内事業者の持続化給付金等の申請手続きを支援

○ 雇用調整助成金等、休業支援金等の活用支援

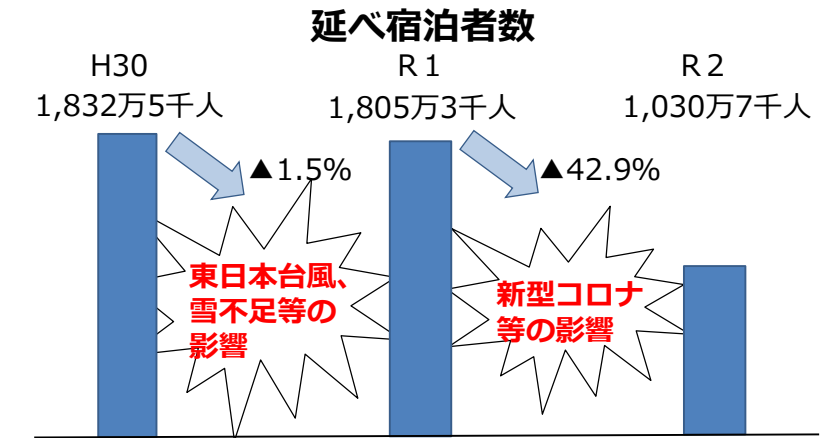
- ・ 労政事務所において社会保険労務士による各種相談、申請サポートを実施
 ⇒ 申請支援実績 76件 (R3.4.30現在)
 【雇調金等の支給決定 59,077件、休業支援金等の支給決定 13,375件】

○ 第2の就職氷河期世代の発生を防ぐための新規学卒者の就職支援

- ・ 合同企業説明会に代わるオンライン企業セミナーの開催 (R2.3月～5回実施)
 ⇒ 参加学生数2,566名、参加企業数283社
- ・ 高卒者の採用枠確保に関する経済団体への要請 (R2.3月、5月に2回実施)

○ 県内の飲食店、観光関連事業者等への支援

- ・ 事業者が共同で行う新たな取組に必要な費用の一部を補助
 ⇒ 補助件数 480件 (R2年度実施)
- ・ 旅行・宿泊商品に対する支援 (割引) による需要喚起 (R2.6月～)
 ⇒ 宿泊割339,095人泊、アクティビティ割108,210人 (R3.5.10現在)



(出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」)

課題

- 経済活動が制限されている中、飲食業や宿泊業などの業種によっては、厳しい状況が続いており、さらなる長期化により**倒産・廃業につながる恐れ**
- 雇用調整助成金の活用により事業者は雇用の維持を図っているが、雇用調整助成金の特例措置の段階的な縮減が令和3年5月から始まっており、感染症の収束が見通せない中、**失業者の増加に繋がる可能性**
- 長野県内の令和3年3月新規大学等卒業者の就職内定状況は、令和3年3月末現在で96.2%と、前年同期では過去5年間で最も低くなるなど、**企業の採用意欲が低下**
(※前年同月比△0.6%)
- 感染防止対策にがんばって取り組む事業者を支援するためには、**GoToキャンペーンの再開など需要喚起が必要**

提案・要望

1 新型コロナの長期化に伴う事業者への支援充実（経産省）

コロナ禍が長期化する中、収益の低迷が続く事業者も多いことから、実質無利子・無担保融資を再度実施すること
今後、感染症の影響がさらに長期化・深刻化することも想定し、既に貸し付けられている実質無利子・無担保融資の返済条件の変更
に、金融機関が柔軟に対応できるようにすることや利子補給期間の延長など、事業者の返済負担の一層の軽減策を行うこと

2 コロナ禍における労働者を守るための雇用対策の継続・充実（厚労省）

雇用調整助成金等の特例措置や休業支援金・給付金について、本県では観光関連事業を中心に緊急事態宣言区域や重点措置区域以上に影響が生じているため、地域や業況に関わらず全国において特例措置を延長するとともに、5月以降の縮減については縮減前の水準までの遡及適用を行うこと

3 第2の就職氷河期世代を生み出さないための支援（厚労省・経産省・文科省）

再び就職氷河期世代を生み出さないよう、新規卒業生の採用の維持に向け、経済界への更なる要請を行うとともに、企業が採用を抑制しないための支援策を講じること

4 感染防止対策にがんばって取り組む事業者を支援（観光庁）

地域観光事業支援について、近隣圏域での観光支援も対象に加えるほか、感染拡大期においても観光関連事業者の将来需要の確保と事業継続を支援するため、全国で宿泊等に利用できる前売りクーポン事業を速やかに創設すること

Go To トラベル事業については、感染状況などの地域の実情を踏まえ、運用変更前に都道府県と十分な情報共有を図ることも含め、適切に運用すること